

# 第1回アジア選手権大会要項

【 1<sup>st</sup> ICO CROSSMINTON ASIAN CHAMPIONSHIPS powered by Speedminton® 】

2023年1月25日

一般社団法人日本クロスミントン協会

# 第1回アジア選手権大会の開催にあたって

はじめに、この度クロスミントン第1回アジア選手権を日本にて開催する運びとなり、大会参加いただく皆様やご協力いただく皆様に、協会一同、大きな感謝と、皆様とともに開催できることに大きな喜びも感じております。

2020年2月にクロスミントン競技の第1回アジア選手権(ICO CROSSMINTON ASIAN CHAMPIONSHIPS)を東京都大田区にて開催予定をしていましたが、当時流行し始めた新型コロナウイルスの感染拡大の影響により延期となりました。

その後の社会情勢や、2022年6月にICO(世界クロスミントン機構)が世界選手権(ICO CROSSMINTON WORLD CHAMPIONSHIPS)を開催した事に続き、2023年2月に東京都八王子市にて、第1回アジア選手権を開催する運びとなりました。

世界選手権は今まで6度、ヨーロッパ選手権は4度ICOが開催してきましたが、アジア選手権はまだ未開催であり、アジアでは日本が初めての開催試みとなります。

今回も感染症対策を講じた上で進めますが、第1回アジア選手権を無事に実施できるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 第1回アジア選手権大会概要

【日時】2023年2月3日(金)～2月5日(日)

【場所】エスフォルタアリーナ八王子

〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1 4 5 3 - 1

【主催】一般社団法人日本クロスミントン協会

【共催】工学院大学体育会クロスミントン部、クロスミントン全日本学生連盟

【後援】八王子観光コンベンション協会

【協賛】JCOM株式会社

【協力】アローレ八王子スポーツクラブ、一般社団法人プレジールスポーツクラブ OPAL with がおーんず

【参加見込み人数】シングルス200名、ダブルス150名

【大会カテゴリー】

★シングルス

オープン、女子、Over40男子、Over40女子、  
Over50男子、Over50女子、Over60男子、Over60女子、  
Under12男子、Under12女子、Under14男子、Under14女子、  
Under16男子、Under16女子、Under18男子、Under18女子、

★ダブルス

オープン、女子、ミックス  
Over40男子、Over40女子、Over40ミックス、  
Over50男子、Over50女子、Over50ミックス、

【大会予定】

2023年2月3日：ダブルス開会式、ダブルストーナメント大会

2023年2月4日：シングルス開会式、シングルス予選リーグ

2023年2月5日：シングルス決勝トーナメント

※本事業は、公益社団法人八王子観光コンベンション協会のMICE開催助成金を活用しております。



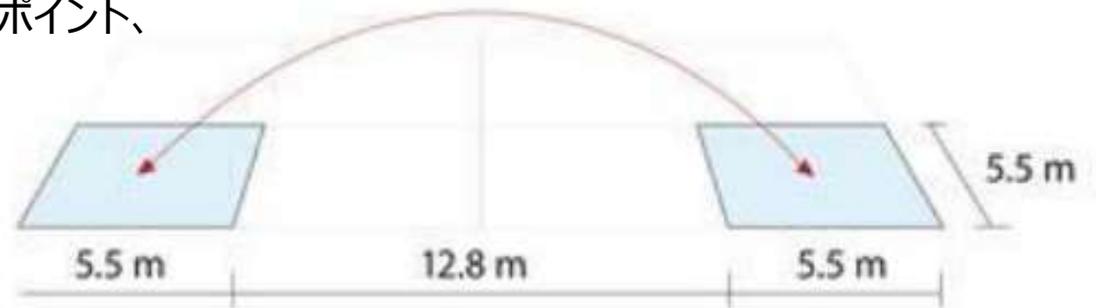
**HACHIOJI TOKYO**  
GLOBAL MICE CITY FOR YOUR INNOVATION

# クロスミントンとは？

クロスミントンはテニスより細く軽いラケットで、スピーダーというプラスチック製の羽根を打ち合うスポーツです。バドミントンとテニスの中間のスポーツのイメージですが、最大の特徴はネットがありません。



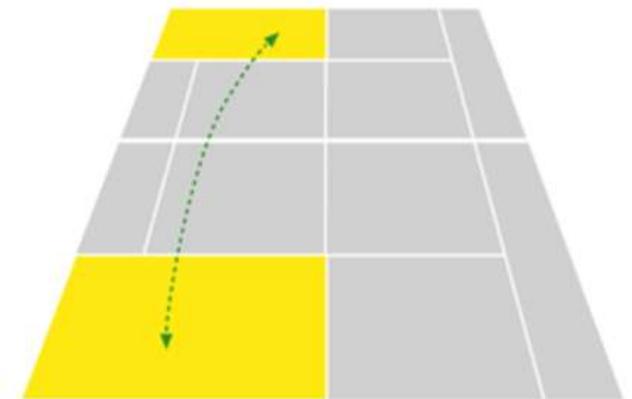
12.8m離れた5.5m四方の自陣と相手陣に分かれ、ラリーを行います。相手陣にスピーダーを落とせば得1ポイント、相手陣以外に落ちれば失1ポイントです。通常1セット16点先取で、3セットマッチで行います。



スピーダーはプラスチック製の為、初速から手元に来るまで、それほどスピードが落ちません。従って、低い軌道で直線的に打ち合ったり、高い軌道で相手陣後方を狙ったり、3次元的な攻め方が展開されます。またスピーダーの中心には穴が開いていて、飛ぶときに『ピューン』という爽やかな音がします。またバドミントンより風の影響を受けにくいので、公園やビーチなどの野外でも楽しめます。

試合は、1対1で対戦するシングルスと、同じコートサイズで2対2で対戦するダブルスがあります。

日本では屋内であるイメージが多いですが、海外では屋外でも試合を行ったりします。テニスコートでちょうど2面が取れるサイズになっています。



# クロスミントンの今まで

2021年3月感染症対策をして大会実施再開。

2020年日本で初のアジア選手権を開催計画も

2019年大学中心の学生連盟発足。 コロナで延期。

2019年協会を一般社団法人化する。

2019年首都圏以外の豊田市でジャパンオープン開催。

2018年日本のクラブ数が20を超える。

2018年ICOのボードメンバーになる。 ※ICO:世界クロスミントン機構

2016年『スピードミントン』から『クロスミントン』へ名称変更。

2015年～日本で初のジャパンオープン(国際大会)を開催。

以降は毎年、2回国際大会、2回国内大会開催) 開催地は主に大田区。または埼玉県大宮・浦和。

2019年 地域総合スポーツクラブ(豊田市)共催の国際大会も実施

2014年日本で初のジャパンオープン(国内大会)を開催。

2008年『日本スピードミントン協会』設立。

2008年～2014年 日本スピードミントン交流大会実施(6回)

2007年～2021年、都立蒲田高校の体験授業で1年生対象に取り入れて。以降14年間継続。

2004年日本に入る。2005年大田区の地域型総合スポーツクラブ、ピボットフットで教室を開始。

2001年スピードミントンの競技がドイツで生まれる。

# 全国に広がるクロスミントンクラブ

2023年1月時点、全国に46クラブ

